



Inamori Research Institute for Science

稲盛科学研究機構 誕生

フェローシッププログラム

公益財団法人稲盛財団（京都市下京区、理事長：稲盛和夫、以下稲盛財団）は、基礎科学の研究者を長期間にわたり応援し、日本の科学をリードする人材の育成支援を目的に、「稲盛科学研究機構(InaRIS※1)フェローシッププログラム」を設立いたしますので、お知らせします。

※1 InaRIS: Inamori Research Institute for Science

- 長期的な視野で挑戦的な研究を推進：1年あたり1000万円の研究費を10年間助成（総額1億円）
- 議論や交流による創造性の加速：フェロー同士や運営委員との交流を促すネットワーク型研究機構
- 新たな分野の開拓や発見・発明を促進する募集対象領域の設定：今回は「量子」

稲盛科学研究機構 運営委員会



中西 重忠 機構長

京都大学
名誉教授



岡田 清孝 委員

龍谷大学
教授



小林 誠 委員

高エネルギー加速器
研究機構 特別名誉教授



榊 裕之 委員※2

豊田工業大学
学長



森 重文 委員

京都大学
高等研究院 院長



山中 伸弥 委員

京都大学
iPS細胞研究所 所長

※2 榊先生の漢字は「榊」が正しい表記です。

InaRIS 記者発表会

- 日時：2019年2月25日（月曜日）14:00～15:00
- 発表：井村裕夫稲盛財団会長（京都大学名誉教授）、中西重忠機構長、岡田清孝委員、小林誠委員、稲盛財団助成部職員
- 場所：文部科学省 東館12階 文部科学記者会「記者会見室」（東京都千代田区霞が関3丁目2番2号）

本件に関するお問い合わせ 稲盛財団広報部：太田乃輔 tel: 075-353-7272 e-mail: press@inamori-f.or.jp

〒600-8411 京都市下京区烏丸通四条下ル水銀屋町620番地 COCON KARASUMA 7F

www.inamori-f.or.jp

稲盛科学研究機構フェローシッププログラム 概要

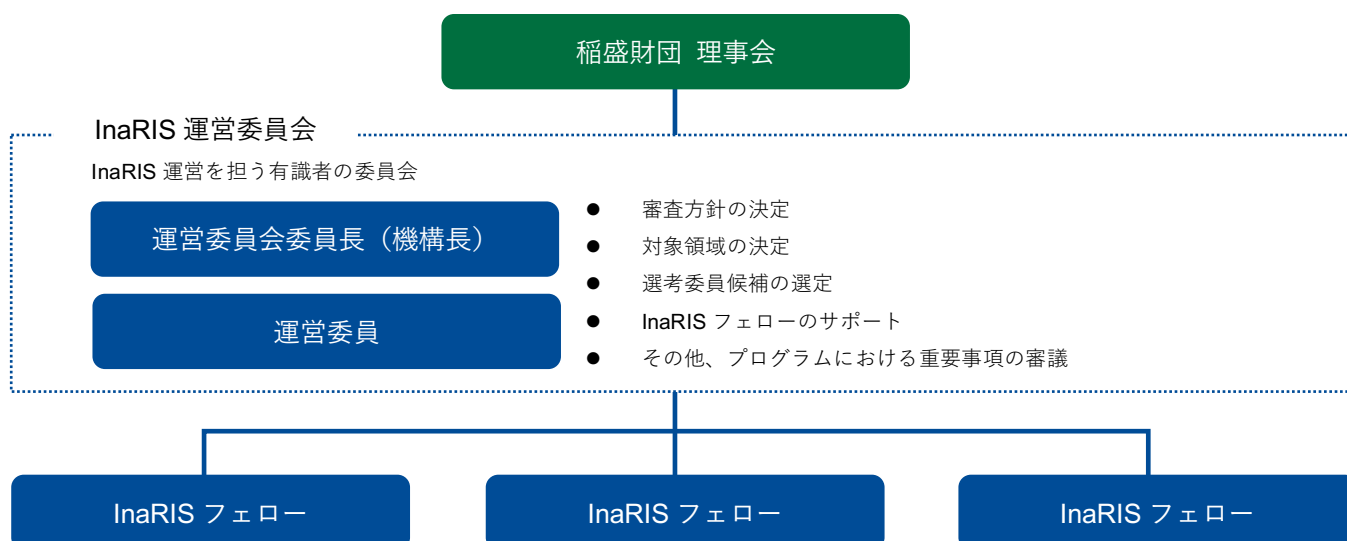
稲盛科学研究機構フェローシッププログラムの趣旨

稲盛科学研究機構フェローシッププログラム（以下、InaRIS フェローシッププログラム）は、研究課題のみにとどまらない、研究者の持つ志や熱意、未知なる領域へのあくなき挑戦心といった「人」そのものを応援する制度です。稲盛財団理事長・稲盛和夫の「人のため、世のために役立つことをなすことが、人間として最高の行為である」という理念に基づいて、基礎科学の研究者を長期的に応援し、さらには、将来的に日本の科学を牽引する人材育成の支援を目的としています。

InaRIS の運営体制

InaRIS はキャンパスや建物を持たないネットワーク型の研究機構です。研究者個人の力だけではなく、交流によって生み出される創造力をも重要視しています。稲盛財団は、InaRIS フェロー（以下フェロー）同士を繋ぎ、切磋琢磨できる場を提供します。

運営にあたり、運営委員会が審査方針や選考委員候補を選定、フェローへのサポートを行います。フェローの選考は運営委員会とは別に設ける選考委員会が行います。フェローは自らの所属する大学・機関で研究に邁進しながらも、InaRIS 運営委員会のメンバーや、他のフェローともオープンに交流し、研究を推進します。



プログラムの研究費

フェローには、研究費として毎年 1000 万円を 2029 年度までの 10 年間にわたり助成します（総額 1 億円）。
1000 万円の直接経費とは別に、100 万円を上限として間接経費を研究機関に支払います。

プログラムの採択人数と期間

2020 年度は 2 名、2020 年 4 月より 10 年間とします。

募集対象と申請資格

① 対象とする研究：2020 年度は「量子」に関する研究

20 世紀初めに生まれた量子力学は、電子の粒子性と波動性などそれまでの常識を覆す知見をもたらしました。量子力学は、素粒子論や宇宙論や物性論はもとより、数学、化学、電子工学、情報科学など、幅広い分野に影響を与え、それらに深みと広がりを与えています。

この領域では、量子が絡む発見や発明、学術の大きな発展への寄与、学術体系の方向転換などの可能性を秘めた幅広い研究を対象とします。

② 申請者の資格：下記 a. から d. の要件をすべて満たす申請者

- a. 日本に居住し、募集要項を送付した大学・機関に所属し、常勤で雇用されていること。（注 1）
- b. 独立研究者で、大学所属の場合は准教授以上とする。大学以外に所属の場合は上記に相当する者。
- c. 助成年度開始時に 50 歳以下であること。
- d. 稲盛研究助成を受けている方は、その研究期間が残っていないこと。

注 1：申請時および 2020 年度（2020 年 4 月～2021 年 3 月まで）に在籍していること。任期付きの職でも可。

選考

① 選考プロセス

- ・ 選考委員会が申請書に基づいて選考し、まず数名の候補者に絞り込みます。
- ・ 候補者に残った方には面接審査を行います。
- ・ 選考委員会により InaRIS フェローを内定します。
- ・ 理事会において正式決定いたします。

② 主な選考基準

「人」に助成するという趣旨をふまえ、以下の要素を参考にしながら、申請者の研究に対する姿勢、考え方も含めて、総合的な観点で選考されます。

- ・ **独創性**：独自の着眼点に立脚し、重要な発見や発明につながっているか。
- ・ **革新性**：従来の考えに捉われない革新的な要素があるか。
- ・ **国際性**：世界の潮流の中で国際的に認められる新規性と一般性を持つか。
- ・ **継続性**：十分な研究実績を持ち、さらなる飛躍を意図しているか。
- ・ **連続性**：研究内容に助成期間を通した一貫性があり、10 年間の助成にふさわしいか。
- ・ **発展性**：長期的視野に立った新しい分野の開拓につながるか。
- ・ **社会性**：人類社会に貢献し人間の叡智を示すものであるか。

ウェブサイト：2019 年 2 月 25 日（月）15 時公開

<https://www.inamori-f.or.jp/inaris>

InaRIS 運営委員プロフィール



中西 重忠 機構長

京都大学名誉教授

京都大学医学部教授、京都大学大学院生命科学研究科教授、公益財団法人大阪バイオサイエンス研究所所長などを歴任。2015 年よりサントリー生命科学財団生物有機科学研究所所長。1987 年武田医学賞、92 年上原賞、95 年米国ブリストル・マイヤーズ・スクイブ神経科学賞、96 年第 1 回慶應医学賞、97 年恩賜賞・日本学士院賞、2007 年米国グルーバー神経科学賞、15 年文化勲章などを受賞。専門は分子神経科学。



岡田 清孝 委員

龍谷大学教授

東京大学理学部助手、基礎生物学研究所助教授、京都大学大学院理学研究科教授、基礎生物学研究所所長、自然科学研究機構理事などを経て龍谷大学農学部教授、この間、日本植物生理学会会長、日本分子生物学会理事長などを歴任。シロイヌナズナが世界中で植物分子遺伝学のモデル植物として定着するのに多大な貢献を果たす。2009 年日本植物学会学術賞、10 年日本植物生理学会賞、15 年日本植物学会大賞など。



小林 誠 委員

高エネルギー加速器研究機構（KEK）特別名誉教授

日本学術振興会学術顧問。高エネルギー物理学研究所物理研究系教授、KEK 素粒子原子核研究所教授、KEK 素粒子原子核研究所所長などを歴任。2006 年 KEK 名誉教授。07 年日本学術振興会理事。08 年「CP 対称性の破れの起源の発見」によりノーベル物理学賞を受賞。専門は素粒子理論。



榊 裕之 委員

豊田工業大学学長

東京大学生産技術研究所助教授、米国 IBM ワトソン研究所客員研究員、東京大学生産技術研究所教授を歴任。2010 年より豊田工業大学学長。この間、応用物理学会会長などを兼務。00 年藤原賞、04 年江崎玲於奈賞、05 年日本学士院賞、08 年文化功労者、10 年 C&C 賞などを受賞。専門は半導体電子工学で、量子細線・量子ドットなどの先駆的研究を推進。



森 重文 委員

京都大学高等研究院院長

京都大学理学部助手、米国ハーバード大学助教授、名古屋大学教授、京都大学数理解析研究所教授、同所長などを経て、京都大学高等研究院特別教授、院長。2015 年から 18 年まで国際数学連合総裁を務める。専門は代数幾何学。1979 年ハーツホーン予想を解決、90 年フィールズ賞を受賞。



山中 伸弥 委員

京都大学 iPS 細胞研究所所長・教授

米国グラッドストーン研究所研究員、奈良先端科学技術大学院大学遺伝子教育研究センター教授などを経て、2004 年から京都大学再生医科学研究科教授。10 年 4 月から京都大学 iPS 細胞研究所所長。09 年ガードナー国際賞、10 年京都賞先端技術部門、12 年ノーベル生理学・医学賞などを受賞。

InaRIS 全国説明会

地域	日時	会場
京都	2月28日（木） 14:00 - 16:00	からすま京都ホテル「双舞」
東京	3月1日（金） 14:00 - 16:00	TKP 品川カンファレンスセンター カンファレンスルーム 5C
名古屋	3月5日（火） 13:00 - 15:00	TKP 名駅東口カンファレンスセンター カンファレンスルーム 13C
札幌	3月6日（水） 14:00 - 16:00	TKP 札幌カンファレンスセンター カンファレンスルーム 7C
岡山	3月6日（水） 14:00 - 16:00	TKP ガーデンシティ岡山 カンファレンスルーム 4C
仙台	3月7日（木） 14:00 - 16:00	TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口 カンファレンスルーム 7H
福岡	3月7日（木） 14:00 - 16:00	TKP ガーデンシティ 博多新幹線口 5-A

ロゴのコンセプト

卵を支えている InaRIS

グラフィックデザイナー 佐藤 卓

InaRISのロゴは、ロゴの中の小文字「na」の上部の窪みで、卵を支えている形をしています。これは、地道に研究を続ける研究者を卵に見立て、InaRISがそれを支え、大事に温めているイメージです。卵は、自分で自分を守ることができず、誰かが守らなければいけません。そして大事に温められた卵からは、のちに雛が生まれ、そして育って大空に羽ばたいて行くことでしょう。InaRISは、このロゴにそのような想いを込めて、科学の基礎研究に勤しむ研究者を、少しでも支え続けたいと願っています。そして卵に施された群青色は、元々鉱物の瑠璃（ラピスラズリ）からつくられた日本画材で最も貴重な色として、古来より大切に使われてきた日本の伝統色です。時間を掛けて科学の基礎研究を支えるInaRISに相応しい色として、自然が与えてくれたこの特別な色を選びました。

